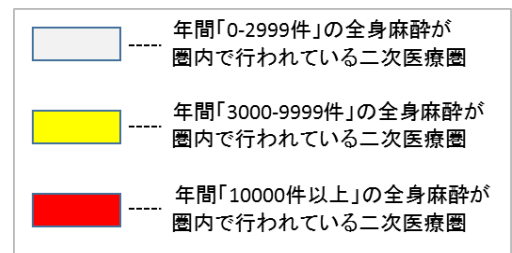
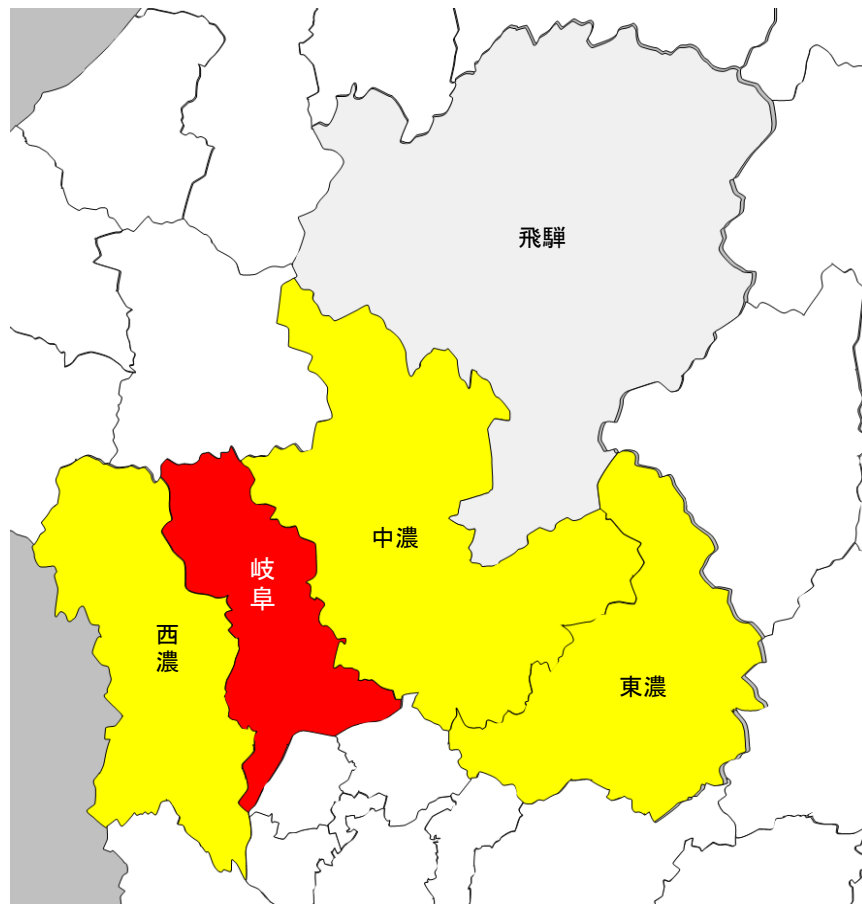


# 21. 岐阜県

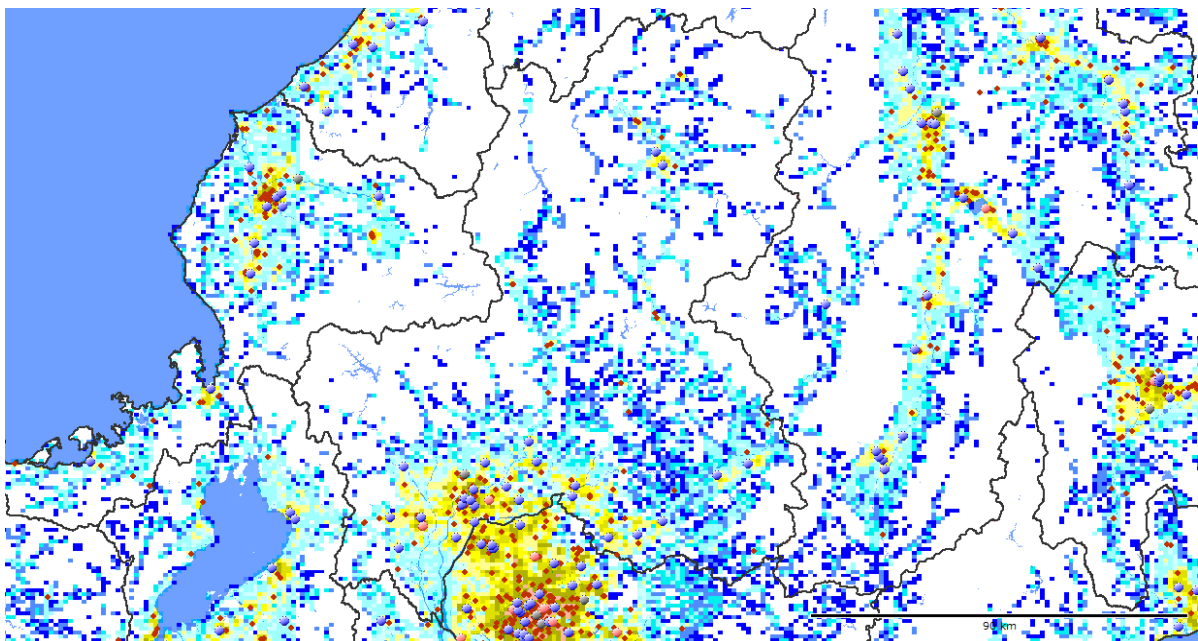


目次

岐阜県	21	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	21	-	8
1. 岐阜医療圏	21	-	20
2. 西濃医療圏	21	-	25
3. 中濃医療圏	21	-	30
4. 東濃医療圏	21	-	35
5. 飛騨医療圏	21	-	40

# 21. 岐阜県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



## (岐阜県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 岐阜県は、総人口約2,032千人(2015年)、面積10,621km<sup>2</sup>、人口密度は191人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 岐阜県の総人口は2025年に1,901千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に1,646千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の277千人が、2025年にかけて361千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には355千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 岐阜県の一人当たり医療費(国保)は362千円(偏差値51)、介護給付費は249千円(偏差値48)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 岐阜県の一人当たり急性期医療密度指数は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数は0.64で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数45、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 岐阜県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、26,046人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が17,302床(偏差値51)、高齢者住宅等が8,744床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、21,163人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム40、軽費ホーム50、グループホーム55、サ高住44である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、2,767人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-27%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

岐阜県の総人口は、2005年2,107,226人が、2015年に2,031,903人と4%減少し、2025年の人口が1,901,131人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

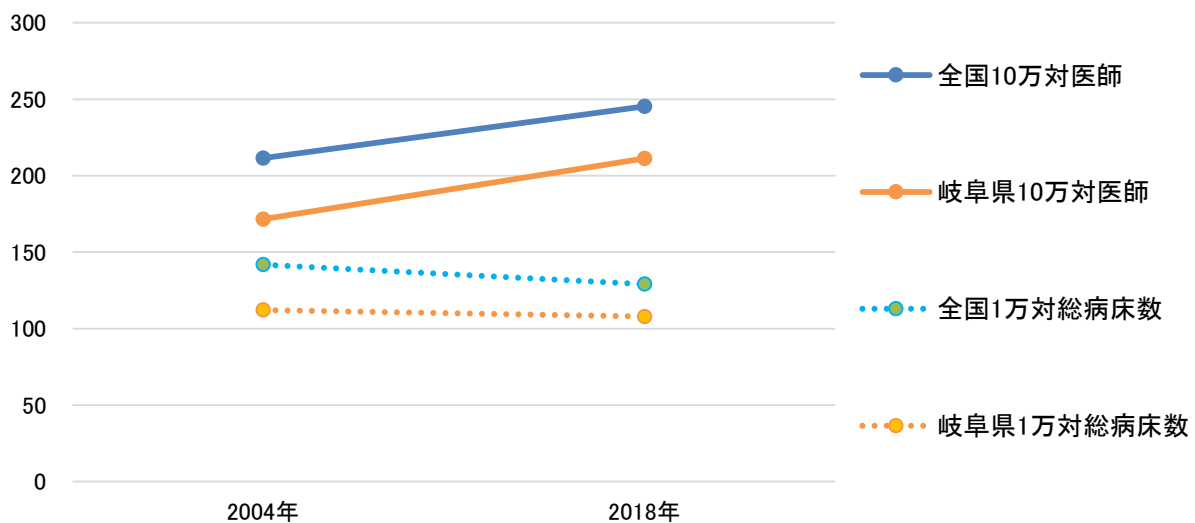
2004年の病院数が112(人口10万人当たり5.3病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2018年に100(人口10万人当たり4.9病院(全国平均6.6)偏差値46)となり、14年間で12病院が減少した。

2004年の診療所数が1,467(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2018年に1,590(人口10万人当たり78診療所(全国平均80)偏差値49)と、123診療所が増加した。

2004年の総病床数が23,642床(人口1万人当たり112(全国平均142)偏差値45)であったが、2018年に21,922床(人口1万人当たり108(全国平均129)偏差値46)と、1,720床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

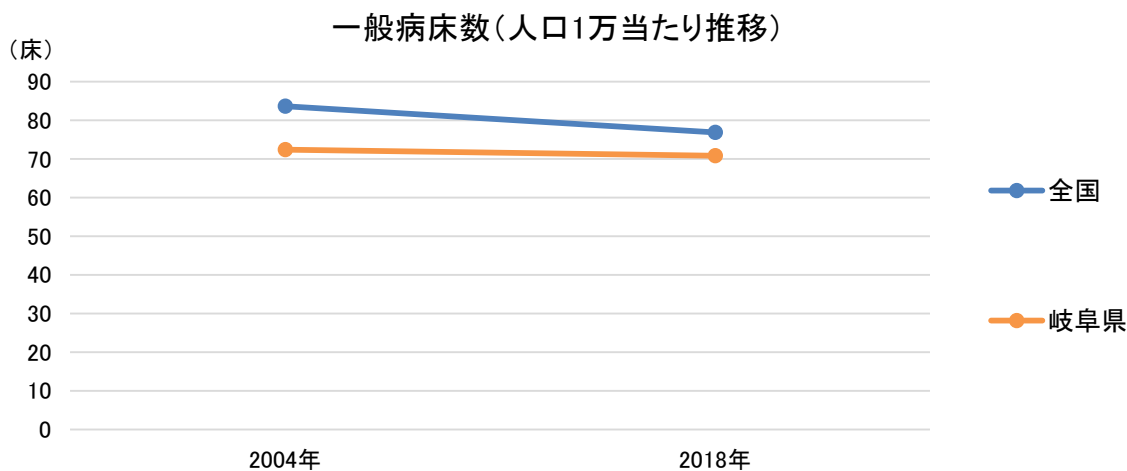
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,614人(人口10万人当たり172人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2018年に4,295人(人口10万人当たり211人(全国平均245人)偏差値46)と、681人の増加、率にして19%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



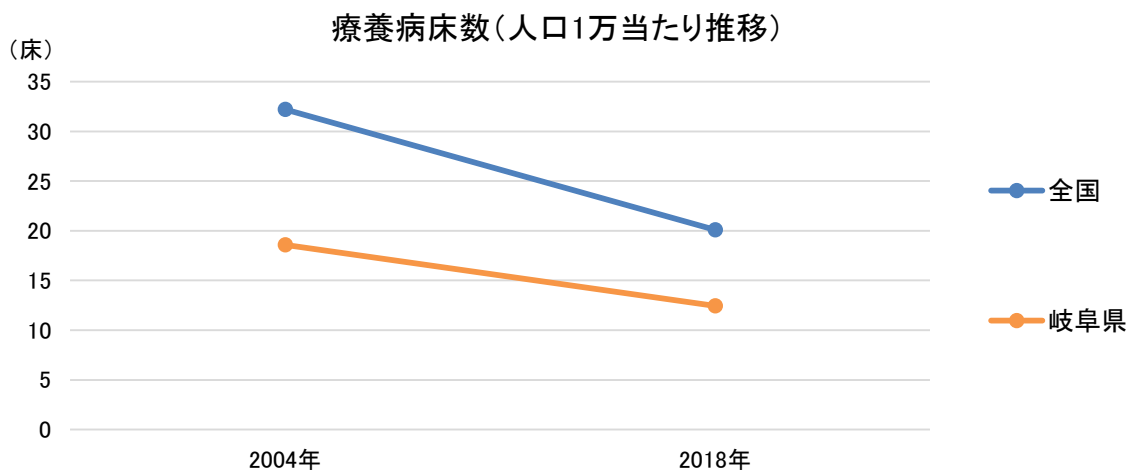
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が15,264床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2018年に14,397床(人口1万人当たり71(全国平均77)偏差値48)と、867床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



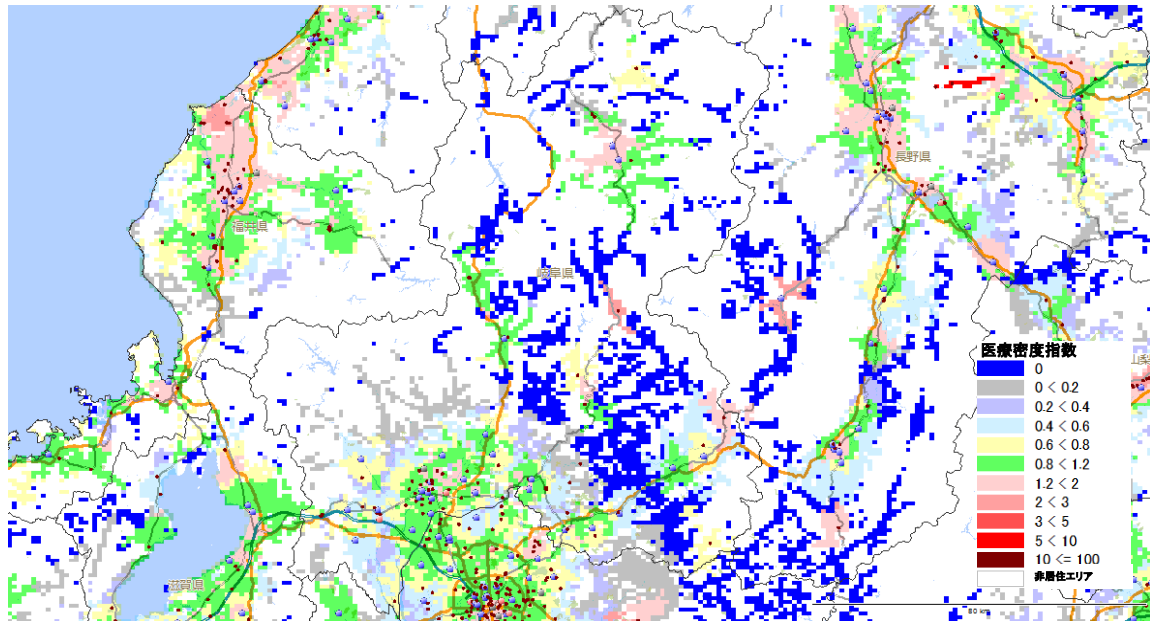
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,778床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均32)偏差値42)であったが、2018年に3,446床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均20)偏差値43)と、332床の減少、率にして9%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



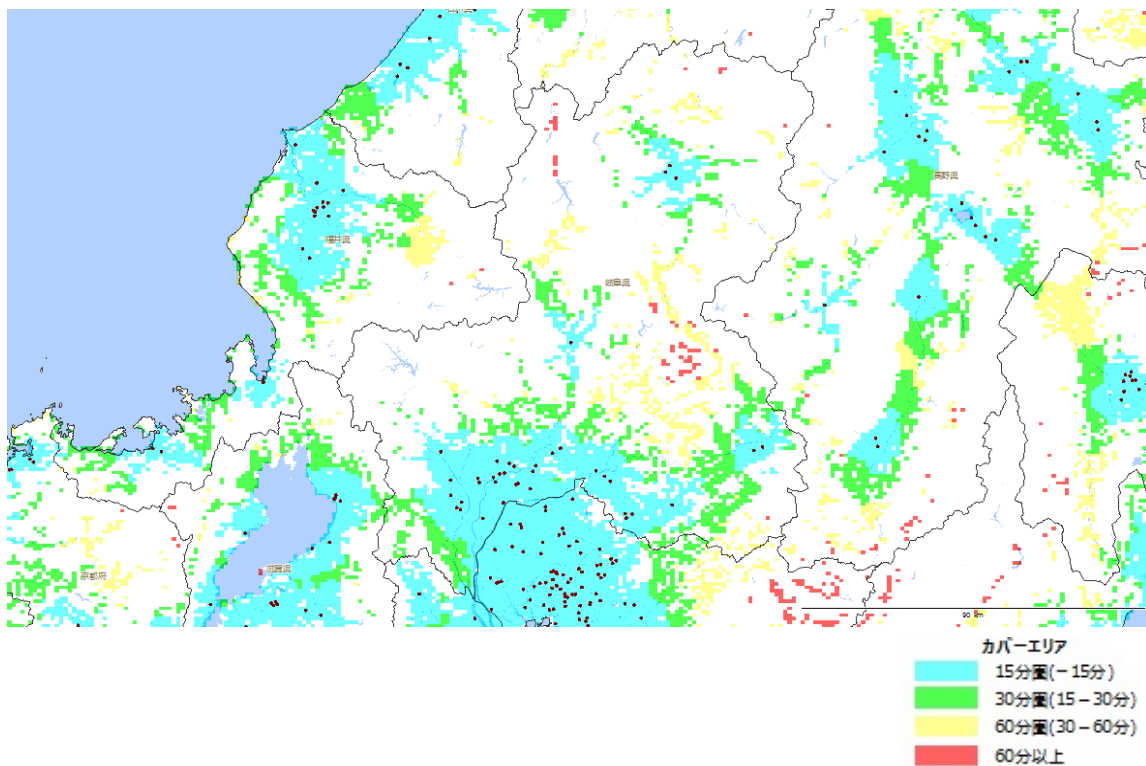
## (岐阜県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表21-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 21-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
岐阜県	2,032	17位	10,621	7位	191.3		28%	1,901	1,646	277	361	355	-6%	-13%	30%	-2%
岐阜	800	39%	993	9%	805.2	地方都市型	27%	765	682	99	134	130	-4%	-11%	35%	-3%
西濃	372	18%	1,433	13%	259.9	地方都市型	28%	342	289	49	63	62	-8%	-15%	29%	-2%
中濃	374	18%	2,454	23%	152.3	地方都市型	28%	352	308	52	68	71	-6%	-13%	31%	4%
東濃	337	17%	1,563	15%	215.6	地方都市型	30%	310	262	51	64	64	-8%	-15%	25%	0%
飛騨	149	7%	4,178	39%	35.7	過疎地域型	33%	132	105	27	31	28	-11%	-20%	15%	-10%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資\_図表 21-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
岐阜県	0.74	0.64	23,073	29,204	-26.6%
岐阜	0.96	0.69	7,913	10,719	-35.5%
西濃	0.53	0.52	4,463	5,185	-16.2%
中濃	0.60	0.55	4,518	5,536	-22.5%
東濃	0.52	0.66	4,091	5,198	-27.1%
飛騨	1.00	3.49	2,088	2,565	-22.8%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) ) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				



資\_図表 21-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
岐阜県	362	51	0.991	133	48	0.940	202	56	1.024	249	48
岐阜	359	51	1.017	130	47	0.948	202	56	1.060	246	48
西濃	369	53	0.999	136	49	0.943	206	58	1.028	258	51
中濃	359	51	0.976	135	49	0.944	199	54	0.998	231	43
東濃	365	52	0.960	129	47	0.870	210	60	1.019	252	49
飛騨	354	50	0.942	147	53	1.003	185	46	0.912	270	54
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資\_図表 21-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
岐阜県	853	44	0.927	395	43	0.855	425	49	1.001
岐阜	905	48	0.992	411	44	0.906	457	57	1.076
西濃	844	43	0.915	387	42	0.839	421	48	0.990
中濃	850	43	0.920	419	45	0.892	400	42	0.949
東濃	817	41	0.879	362	40	0.771	423	49	0.994
飛騨	750	35	0.811	363	40	0.771	362	33	0.860
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 21-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
岐阜県	100	1.2%	4.9	46	1,590	1.6%	78	49
岐阜	41	41%	5.1	46	694	44%	87	53
西濃	16	16%	4.3	44	256	16%	69	44
中濃	18	18%	4.8	46	266	17%	71	45
東濃	15	15%	4.5	45	243	15%	72	46
飛騨	10	10%	6.7	50	131	8%	88	54
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 21-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	102,105		80	(19.0)			75	(18.9)			5.5	(5.8)
岐阜県	1,590	1.6%	78	49	1,463	1.5%	72	48	127	1.8%	6.3	51
岐阜	694	44%	87	53	628	43%	79	52	66	52%	8.3	55
西濃	256	16%	69	44	233	16%	63	43	23	18%	6.2	51
中濃	266	17%	71	45	246	17%	66	45	20	16%	5.4	50
東濃	243	15%	72	46	231	16%	69	47	12	9%	3.6	47
飛騨	131	8%	88	54	125	9%	84	55	6	5%	4.0	48
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 21-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数				病院+ 診療所 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,546,554		1,217	(476)			75	(91)			1,291	(530)
岐阜県	20,320	1.3%	1,000	45	1,602	1.7%	79	50	21,922	1.3%	1,079	46
岐阜	8,561	42%	1,070	47	796	50%	100	53	9,357	43%	1,170	48
西濃	3,648	18%	980	45	313	20%	84	51	3,961	18%	1,064	46
中濃	3,316	16%	887	43	222	14%	59	48	3,538	16%	947	43
東濃	3,026	15%	898	43	193	12%	57	48	3,219	15%	955	44
飛騨	1,769	9%	1,187	49	78	5%	52	48	1,847	8%	1,239	49
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 21-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数				精神 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	890,712		701	(223)			251	(200)			259	(209)
岐阜県	13,050	1.5%	642	47	3,191	1.0%	157	45	3,922	1.2%	193	47
岐阜	5,960	46%	745	52	1,361	43%	170	46	1,170	30%	146	45
西濃	1,867	14%	501	41	729	23%	196	47	1,006	26%	270	51
中濃	2,055	16%	550	43	546	17%	146	45	705	18%	189	47
東濃	2,065	16%	613	46	318	10%	94	42	624	16%	185	46
飛騨	1,103	8%	740	52	237	7%	159	45	417	11%	280	51
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 21-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数				地域包括 ケア 病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
岐阜県	978	1.2%	48	47	1,515	1.9%	75	52
岐阜	528	54%	66	51	516	34%	65	50
西濃	96	10%	26	42	227	15%	61	50
中濃	92	9%	25	42	357	24%	96	55
東濃	191	20%	57	49	196	13%	58	49
飛騨	71	7%	48	47	219	14%	147	62
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資\_図表 21-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
岐阜県	9,334	8,569	472	10,763	4,379	2,664	66.2%	58	15.1%	54
岐阜	3,676	3,456	60	4,857	2,458	1,341	58.4%	55	4.3%	50
西濃	1,499	1,273	180	2,083	593	504	68.2%	59	26.3%	59
中濃	1,081	1,021	50	2,230	1,029	496	49.8%	52	9.2%	52
東濃	1,810	1,745	0	1,105	270	268	86.6%	66	0.0%	48
飛騨	1,268	1,074	182	488	29	55	97.4%	70	76.8%	82
出典	地方厚生局指定一覧令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 21-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
岐阜県	23,760	1.1%	1,169	43	16,440	1.8%	809	53
岐阜	11,616	49%	1,452	46	7,296	44%	912	57
西濃	4,368	18%	1,173	43	2,724	17%	731	50
中濃	3,204	13%	857	39	2,604	16%	697	49
東濃	3,168	13%	940	40	2,676	16%	794	53
飛騨	1,404	6%	942	40	1,140	7%	765	51
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資\_図表 21-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
岐阜県	4,295	1.4%	211	46	2,603	1.3%	128	45	1,692	1.6%	83	51
岐阜	2,188	51%	274	53	1,375	53%	172	51	813	48%	102	58
西濃	608	14%	163	41	333	13%	89	40	275	16%	74	47
中濃	620	14%	166	41	375	14%	100	41	245	14%	66	43
東濃	616	14%	183	43	363	14%	108	42	253	15%	75	47
飛騨	263	6%	176	42	157	6%	105	42	106	6%	71	46
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 21-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
岐阜県	435	1.5%	21.4	49	194	1.4%	9.5	47	175	1.5%	8.6	49
岐阜	271	62%	33.9	60	107	55%	13.4	55	96	55%	12.0	58
西濃	47	11%	12.6	41	26	13%	7.0	42	20	11%	5.4	41
中濃	49	11%	13.1	41	25	13%	6.7	41	26	15%	7.0	45
東濃	46	11%	13.7	42	27	14%	8.0	44	25	14%	7.4	46
飛騨	22	5%	14.8	43	9	5%	6.0	40	8	5%	5.4	41
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 21-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
岐阜県	79	1.4%	3.9	47	159	1.6%	7.8	50	121	1.6%	6.0	50
岐阜	45	57%	5.6	55	87	55%	10.9	60	66	55%	8.3	58
西濃	11	14%	3.0	43	22	14%	5.9	44	18	15%	4.8	46
中濃	8	10%	2.1	39	19	12%	5.1	42	16	13%	4.3	44
東濃	10	13%	3.0	43	24	15%	7.1	48	16	13%	4.7	46
飛騨	5	6%	3.4	45	7	4%	4.7	40	5	4%	3.4	40
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 21-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
岐阜県	128	1.3%	6.3	46	276	1.3%	13.6	45	234	1.4%	11.5	46
岐阜	55	43%	6.9	48	140	51%	17.5	50	113	48%	14.1	52
西濃	19	15%	5.1	43	38	14%	10.2	40	38	16%	10.2	43
中濃	20	16%	5.4	44	42	15%	11.2	42	40	17%	10.7	44
東濃	23	18%	6.8	48	39	14%	11.6	42	30	13%	8.9	41
飛騨	11	9%	7.4	49	17	6%	11.4	42	13	6%	8.7	40
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 21-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
岐阜県	79	1.3%	3.9	45	102	1.5%	5.0	48	60	1.0%	3.0	45
岐阜	40	51%	5.0	51	54	53%	6.8	55	34	57%	4.3	49
西濃	12	15%	3.2	42	8	8%	2.1	36	5	8%	1.3	39
中濃	12	15%	3.2	42	20	20%	5.4	49	11	18%	2.9	44
東濃	10	13%	3.0	41	11	11%	3.3	41	8	13%	2.4	43
飛騨	5	6%	3.4	43	9	9%	6.0	52	2	3%	1.3	39
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 21-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
岐阜県	75	1.0%	3.7	44	23	1.4%	1.1	48	60	1.4%	3.0	48
岐阜	51	68%	6.4	52	13	57%	1.6	53	41	68%	5.1	58
西濃	5	7%	1.3	36	2	9%	0.5	42	2	3%	0.5	37
中濃	8	11%	2.1	39	3	13%	0.8	45	11	18%	2.9	48
東濃	8	11%	2.4	40	4	17%	1.2	49	5	8%	1.5	41
飛騨	3	4%	2.0	38	1	4%	0.7	44	1	2%	0.7	37
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 21-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ーション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
岐阜県	17	0.8%	0.8	43	28	1.0%	1.4	45
岐阜	12	71%	1.5	48	15	54%	1.9	48
西濃	1	6%	0.3	39	8	29%	2.1	50
中濃	2	12%	0.5	41	2	7%	0.5	39
東濃	2	12%	0.6	41	2	7%	0.6	39
飛騨	0	0%	0	36	1	4%	0.7	40
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 21-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
岐阜県	16,978	1.5%	836	48	12,793	1.4%	630	46	4,185	1.9%	206	54
岐阜	7,404	44%	926	51	5,645	44%	706	49	1,759	42%	220	56
西濃	2,794	16%	750	45	2,068	16%	555	43	726	17%	195	52
中濃	2,693	16%	721	44	2,016	16%	539	42	677	16%	181	50
東濃	2,669	16%	792	46	1,965	15%	583	44	704	17%	209	54
飛騨	1,418	8%	951	52	1,100	9%	738	51	318	8%	213	55
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 21-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
岐阜県	1,620	1.2%	80	45	3,921	1.3%	193	45
岐阜	820	51%	103	49	2,055	52%	257	51
西濃	197	12%	53	40	541	14%	145	40
中濃	272	17%	73	44	511	13%	137	40
東濃	219	13%	65	42	574	15%	170	43
飛騨	113	7%	76	44	240	6%	161	42
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 21-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
岐阜県	254	1.8%	0.9	51	17	1.1%	0.1	46	213	1.8%	0.8	53
岐阜	137	54%	1.4	61	7	41%	0.1	47	96	45%	1.0	62
西濃	33	13%	0.7	45	0	0%	0	37	33	15%	0.7	49
中濃	46	18%	0.9	50	5	29%	0.1	51	35	16%	0.7	48
東濃	24	9%	0.5	41	3	18%	0.1	46	36	17%	0.7	50
飛騨	14	6%	0.5	42	2	12%	0.1	48	13	6%	0.5	40
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資\_図表 21-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
岐阜県	26,046	1.5%	94	43	17,302	1.7%	62	51	8,744	1.2%	32	42
岐阜	9,533	37%	96	45	5,833	34%	59	48	3,700	42%	37	46
西濃	4,708	18%	97	45	3,422	20%	70	57	1,286	15%	26	39
中濃	4,785	18%	92	42	3,454	20%	66	54	1,331	15%	26	39
東濃	4,557	17%	90	41	2,815	16%	55	45	1,742	20%	34	44
飛騨	2,463	9%	92	42	1,778	10%	66	54	685	8%	26	39
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 21-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
岐阜県	6,677	1.8%	24	53	10,171	1.7%	37	51	454	0.9%	1.6	46
岐阜	2,337	35%	24	52	3,280	32%	33	47	216	48%	2.2	47
西濃	1,229	18%	25	54	2,149	21%	44	58	44	10%	0.9	44
中濃	1,325	20%	25	55	2,104	21%	40	55	25	6%	0.5	43
東濃	1,099	16%	22	48	1,659	16%	33	47	57	13%	1.1	45
飛騨	687	10%	26	55	979	10%	37	51	112	25%	4.2	53
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 21-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア			軽費ホーム	全国シェア			グループホーム	全国シェア		
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
岐阜県	1,132	0.5%	4.1	40	373	1.6%	1.3	50	4,206	2.1%	15.2	55
岐阜	334	30%	3.4	40	79	21%	0.8	47	1,667	40%	16.9	58
西濃	115	10%	2.4	39	50	13%	1.0	48	876	21%	18.0	60
中濃	289	26%	5.6	42	30	8%	0.6	46	715	17%	13.8	52
東濃	347	31%	6.8	43	164	44%	3.2	58	735	17%	14.4	53
飛騨	47	4%	1.8	38	50	13%	1.9	52	213	5%	8.0	42
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 21-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)	全国シェア			サ高住(特定施設)	全国シェア			サ高住(非特定施設)	全国シェア		
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
岐阜県	3,033	1.2%	10.9	44	60	0.2%	0.2	43	2,973	1.4%	10.7	46
岐阜	1,620	53%	16.4	52	0	0%	0	42	1,620	54%	16.4	54
西濃	245	8%	5.0	36	0	0%	0	42	245	8%	5.0	38
中濃	297	10%	5.7	37	30	50%	0.6	45	267	9%	5.1	38
東濃	496	16%	9.8	43	30	50%	0.6	45	466	16%	9.2	44
飛騨	375	12%	14.0	49	0	0%	0	42	375	13%	14.0	51
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 21-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア			看護師数(施設)	全国シェア			看護師数(訪問)	全国シェア		
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
岐阜県	2,840	1.6%	10.2	48	1,853	1.6%	6.7	47	986	1.8%	3.6	51
岐阜	1,089	38%	11.0	51	651	35%	6.6	46	438	44%	4.4	59
西濃	484	17%	9.9	46	328	18%	6.7	47	156	16%	3.2	48
中濃	491	17%	9.5	44	366	20%	7.0	49	126	13%	2.4	41
東濃	465	16%	9.1	43	292	16%	5.7	42	173	18%	3.4	50
飛騨	310	11%	11.6	54	216	12%	8.1	54	94	10%	3.5	51
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 21-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
岐阜県	23,930	1.6%	86	44	21,163	1.6%	76	47	2,767	1.3%	10.0	43
岐阜	8,810	37%	89	47	7,520	36%	76	47	1,290	47%	13.0	49
西濃	4,402	18%	90	48	3,998	19%	82	53	405	15%	8.3	40
中濃	4,182	17%	80	39	3,806	18%	73	44	377	14%	7.2	38
東濃	4,213	18%	83	41	3,743	18%	74	45	470	17%	9.2	42
飛騨	2,323	10%	87	45	2,098	10%	78	49	225	8%	8.4	41
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 21-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
岐阜県	18,884	1.5%	68	48	9,053	1.6%	33	49	14,424	1.3%	52	43
岐阜	8,630	46%	87	53	3,305	37%	33	50	6,070	42%	61	47
西濃	2,849	15%	58	45	1,636	18%	34	50	2,059	14%	42	39
中濃	2,760	15%	53	44	1,065	12%	20	40	1,690	12%	33	35
東濃	2,868	15%	56	45	2,012	22%	40	54	3,410	24%	67	49
飛騨	1,777	9%	66	48	1,035	11%	39	53	1,195	8%	45	40
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 21-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
岐阜県		2,107,226	2,031,903	-4%	1,901,131	-10%	10%	3%	12%
岐阜	地方都市型	802,218	799,766	0%	764,566	-5%	14%	4%	19%
西濃	地方都市型	391,637	372,399	-5%	342,380	-13%	8%	1%	9%
中濃	地方都市型	388,877	373,712	-4%	352,475	-9%	8%	5%	13%
東濃	地方都市型	358,884	336,954	-6%	309,971	-14%	7%	1%	8%
飛騨	過疎地域型	165,610	149,072	-10%	131,739	-20%	2%	-3%	-1%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資\_図表 21-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
岐阜県	112	5.3	45	100	4.9	46	-12	-11%
岐阜	46	5.7	46	41	5.1	46	-5	-11%
西濃	17	4.3	43	16	4.3	44	-1	-6%
中濃	22	5.7	46	18	4.8	46	-4	-18%
東濃	15	4.2	42	15	4.5	45	0	0%
飛騨	12	7.2	50	10	6.7	50	-2	-17%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 21-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
岐阜県	1,467	70	47	1,590	78	49	123	8%
岐阜	622	78	51	694	87	53	72	12%
西濃	265	68	46	256	69	44	-9	-3%
中濃	217	56	40	266	71	45	49	23%
東濃	227	63	44	243	72	46	16	7%
飛騨	136	82	53	131	88	54	-5	-4%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 21-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
岐阜県	3,614	172	45	4,295	211	46	681	19%
岐阜	1,784	222	51	2,188	274	53	404	23%
西濃	569	145	42	608	163	41	39	7%
中濃	486	125	40	620	166	41	134	28%
東濃	489	136	41	616	183	43	127	26%
飛騨	286	173	45	263	176	42	-23	-8%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 21-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
岐阜県	23,642	112	45	21,922	108	46	-1,720	-7%
岐阜	10,013	125	47	9,357	117	48	-656	-7%
西濃	4,152	106	44	3,961	106	46	-191	-5%
中濃	3,522	91	41	3,538	95	43	16	0%
東濃	3,577	100	42	3,219	96	44	-358	-10%
飛騨	2,378	144	50	1,847	124	49	-531	-22%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 21-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
岐阜県	15,264	72	46	14,397	71	48	-867	-6%
岐阜	6,697	83	50	6,616	83	52	-81	-1%
西濃	2,529	65	43	2,146	58	43	-383	-15%
中濃	2,277	59	41	2,273	61	44	-4	0%
東濃	2,337	65	43	2,203	65	46	-134	-6%
飛騨	1,424	86	51	1,159	78	50	-265	-19%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 21-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

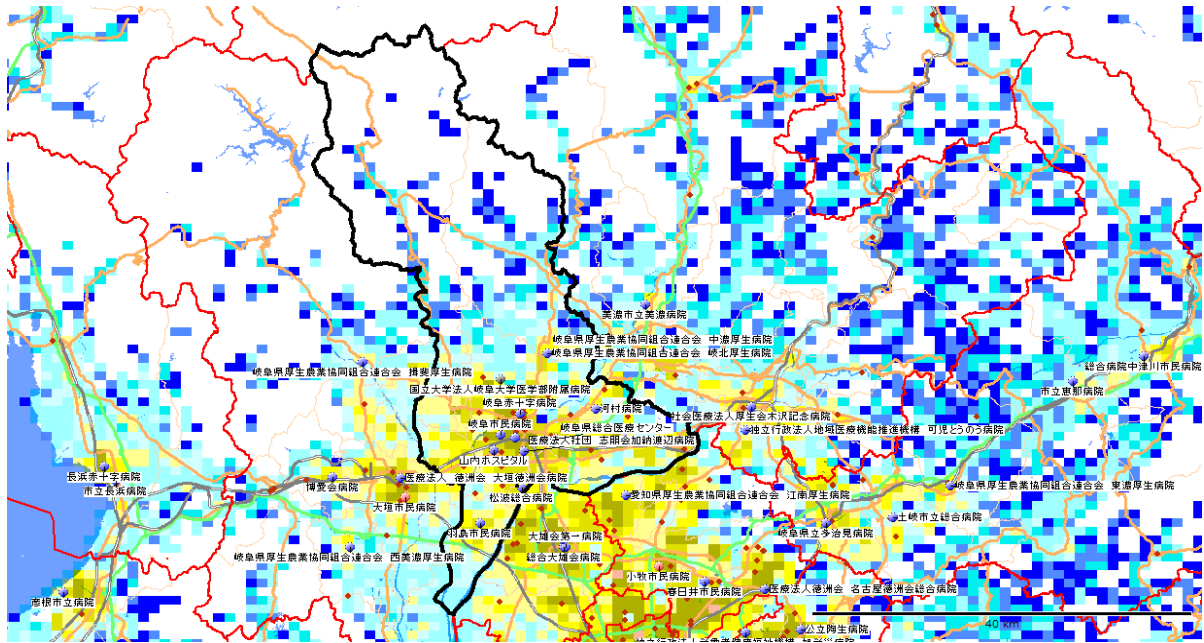
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
岐阜県	3,778	19	42	3,446	12	43	-332	-9%
岐阜	1,754	26	47	1,501	15	46	-253	-14%
西濃	570	15	41	763	16	46	193	34%
中濃	530	13	39	550	11	41	20	4%
東濃	482	13	39	373	7	38	-109	-23%
飛騨	442	21	44	259	10	41	-183	-41%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

# 21-1. 岐阜医療圏

構成市区町村 [岐阜市](#) [羽島市](#) [各務原市](#) [山県市](#)  
[瑞穂市](#) [本巣市](#) [岐南町](#) [笠松町](#)  
[北方町](#)

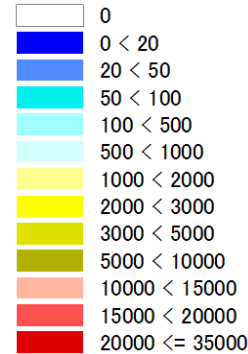
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (岐阜医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 岐阜(岐阜市)は、総人口約800千人(2015年)、面積993km<sup>2</sup>、人口密度は805人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 岐阜の総人口は2025年に765千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に682千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の99千人が、2025年にかけて134千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には130千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 岐阜の一人当たり医療費(国保)は359千円(偏差値51)、介護給付費は246千円(偏差値48)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 岐阜の一人当たり急性期医療密度指数は0.96、一人当たり慢性期医療密度指数は0.69で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が53(病院医師数51、診療所医師数58)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。岐阜には、年間全身麻酔件数が2000例以上の岐阜県総合医療センター(Ⅱ群・救命)、岐阜市民病院(Ⅱ群)、岐阜大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の松波総合病院(Ⅲ群)、500例以上の岐阜赤十字病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 岐阜の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,533人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,833床(偏差値48)、高齢者住宅等が3,700床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7,520人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム40、軽費ホーム47、グループホーム58、サ高住52である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値61と多く、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、1,290人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-35%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (岐阜医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

岐阜医療圏の総人口は、2005年802,218人が、2015年に799,766人と1%未満減少し、2025年の人口が764,566人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

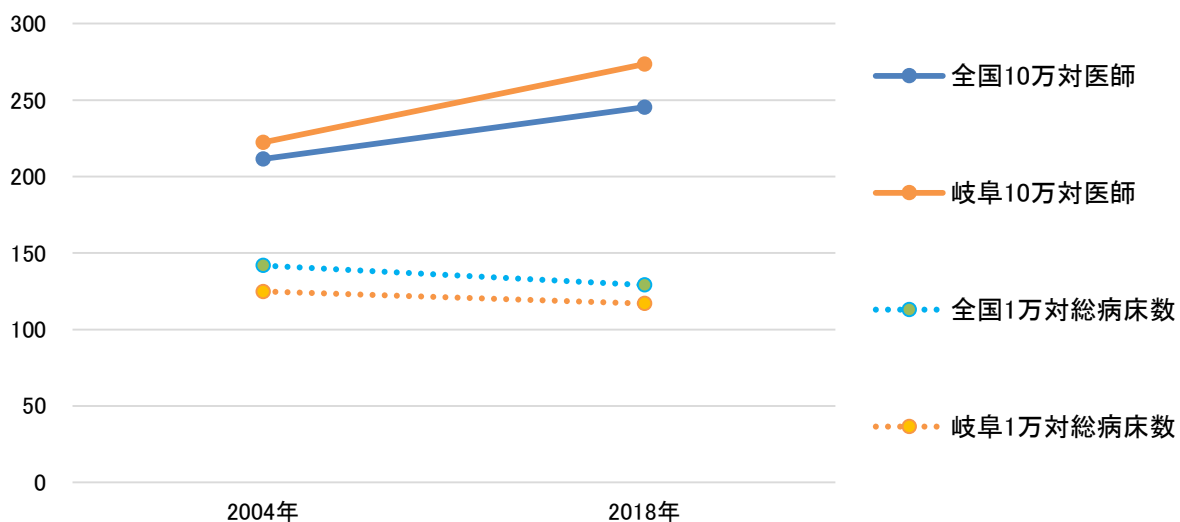
2004年の病院数が46(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2018年に41(人口10万人当たり5.1病院(全国平均6.6)偏差値46)となり、14年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が622(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2018年に694(人口10万人当たり87診療所(全国平均80)偏差値53)と、72診療所が増加した。

2004年の総病床数が10,013床(人口1万人当たり125(全国平均142)偏差値47)であったが、2018年に9,357床(人口1万人当たり117(全国平均129)偏差値48)と、656床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

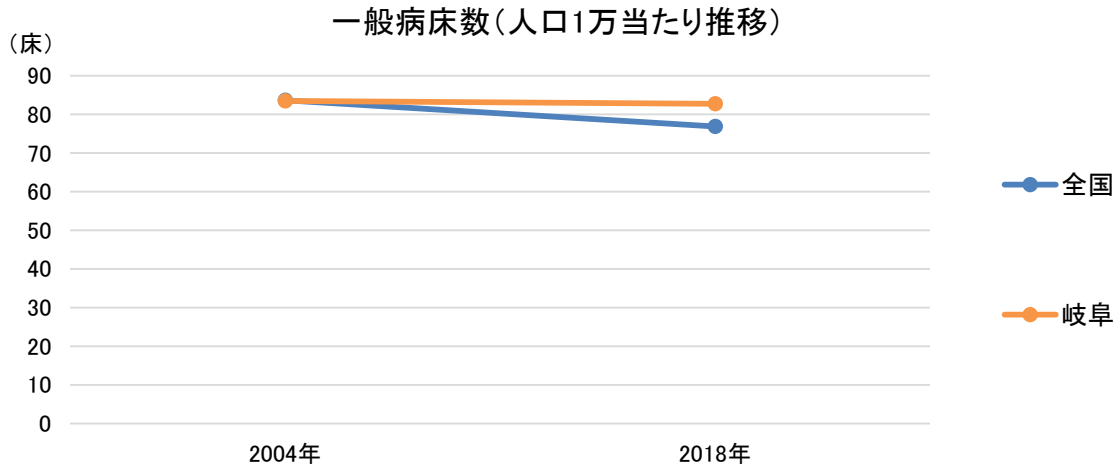
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,784人(人口10万人当たり222人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2018年に2,188人(人口10万人当たり274人(全国平均245人)偏差値53)と、404人の増加、率にして23%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



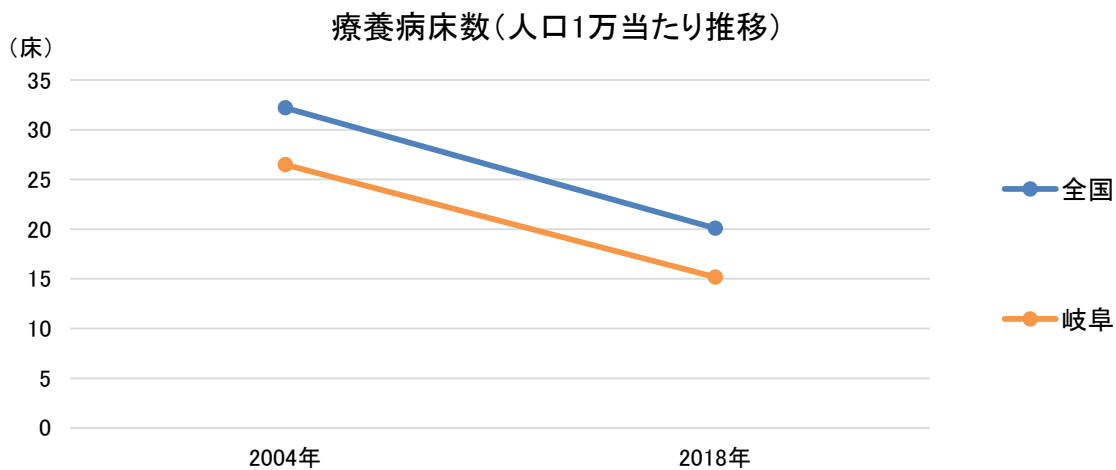
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6,697床(人口1万人当たり83(全国平均84)偏差値50)であったが、2018年に6,616床(人口1万人当たり83(全国平均77)偏差値52)と、81床の減少、率にして1%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



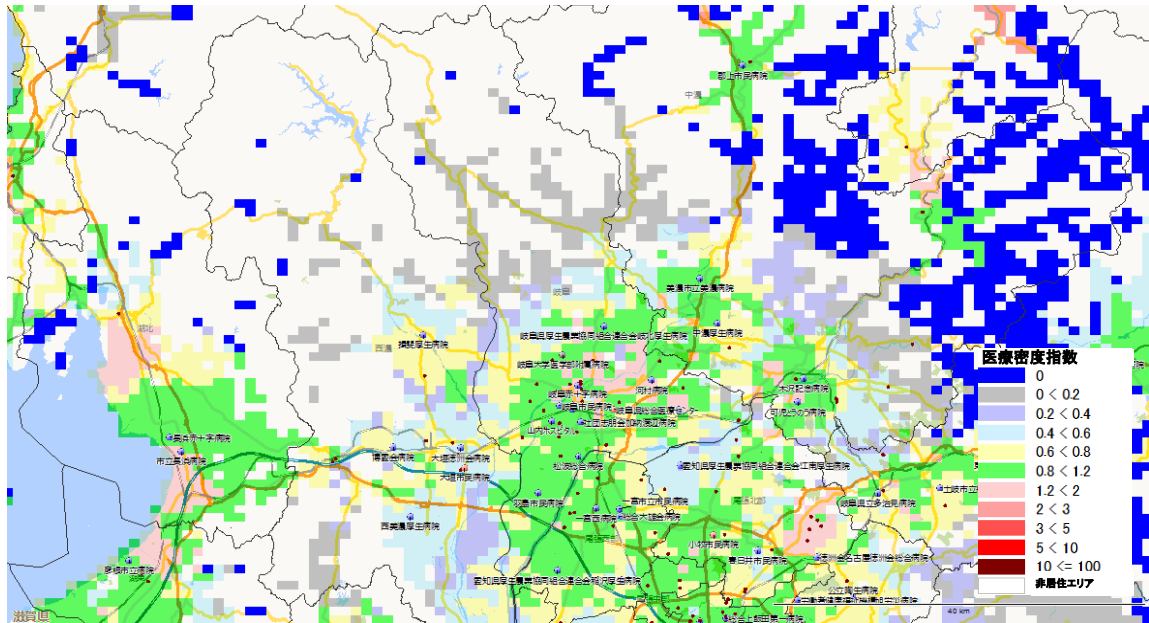
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,754床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均32)偏差値47)であったが、2018年に1,501床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値46)と、253床の減少、率にして14%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



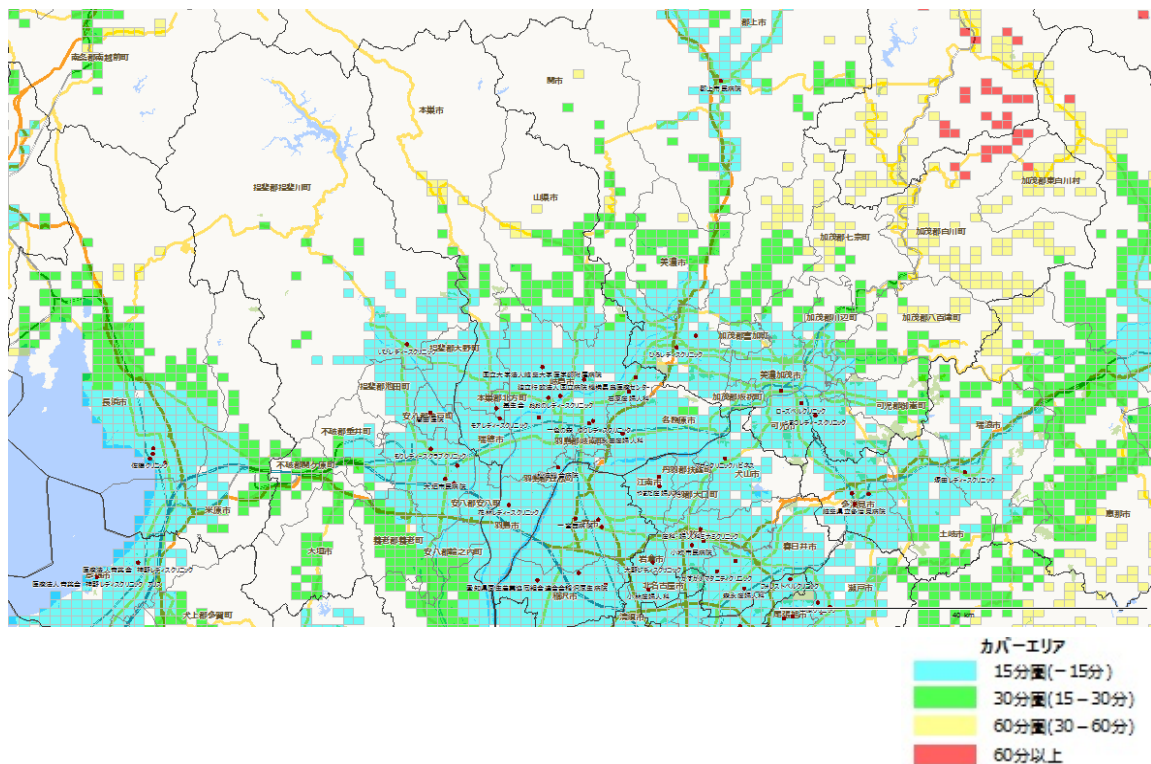
(岐阜医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表21-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



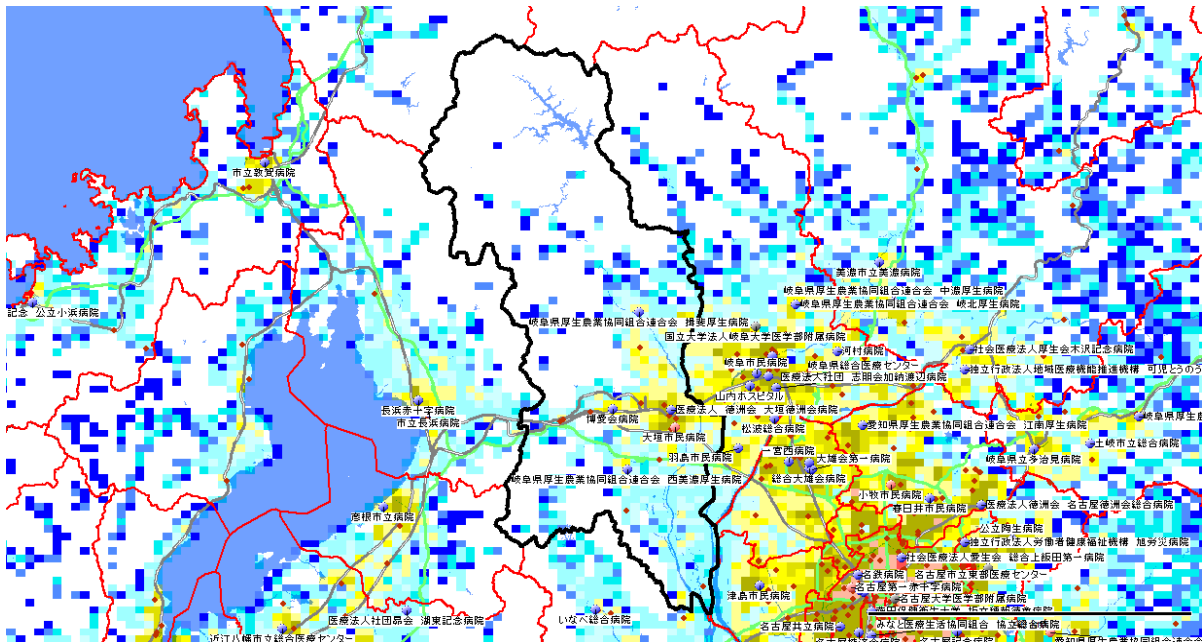


# 21-2. せいのう 西濃医療圏

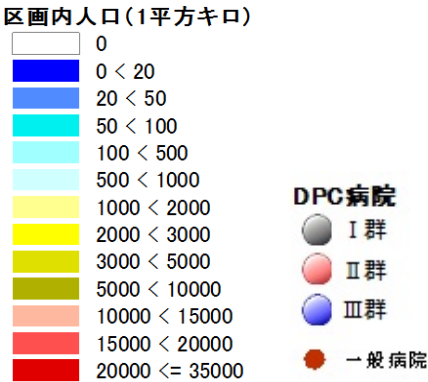
構成市区町村 [大垣市](#) [海津市](#) [養老町](#) [垂井町](#)  
[関ヶ原町](#) [神戸町](#) [輪之内町](#) [安八町](#)  
[揖斐川町](#) [大野町](#) [池田町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (西濃医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 西濃(大垣市)は、総人口約372千人(2015年)、面積1,433km<sup>2</sup>、人口密度は260人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 西濃の総人口は2025年に342千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に289千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の49千人が、2025年にかけて63千人へと増加し(2015年比+29%)、2040年には62千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 西濃の一人当たり医療費(国保)は369千円(偏差値53)、介護給付費は258千円(偏差値51)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 西濃の一人当たり急性期医療密度指数は0.53、一人当たり慢性期医療密度指数は0.52で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数40、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。西濃には、年間全身麻酔件数が2000例以上の大垣市民病院(Ⅱ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 西濃の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,708人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,422床(偏差値57)、高齢者住宅等が1,286床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,998人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム39、軽費ホーム48、グループホーム60、サ高住36である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、405人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (西濃医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

西濃医療圏の総人口は、2005年391,637人が、2015年に372,399人と5%減少し、2025年の人口が342,380人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

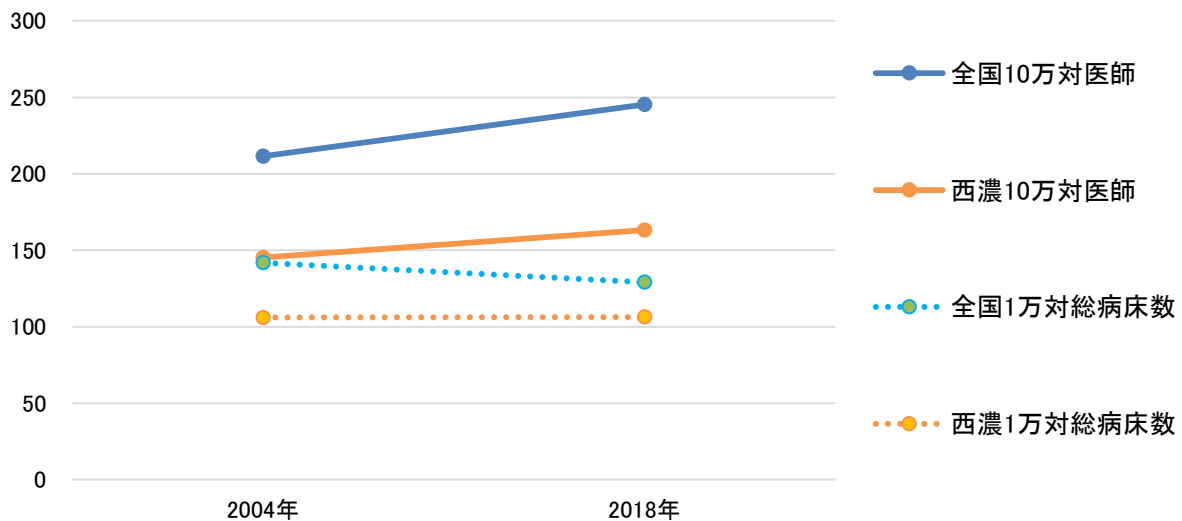
2004年の病院数が17(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2018年に16(人口10万人当たり4.3病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が265(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2018年に256(人口10万人当たり69診療所(全国平均80)偏差値44)と、9診療所が減少した。

2004年の総病床数が4,152床(人口1万人当たり106(全国平均142)偏差値44)であったが、2018年に3,961床(人口1万人当たり106(全国平均129)偏差値46)と、191床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

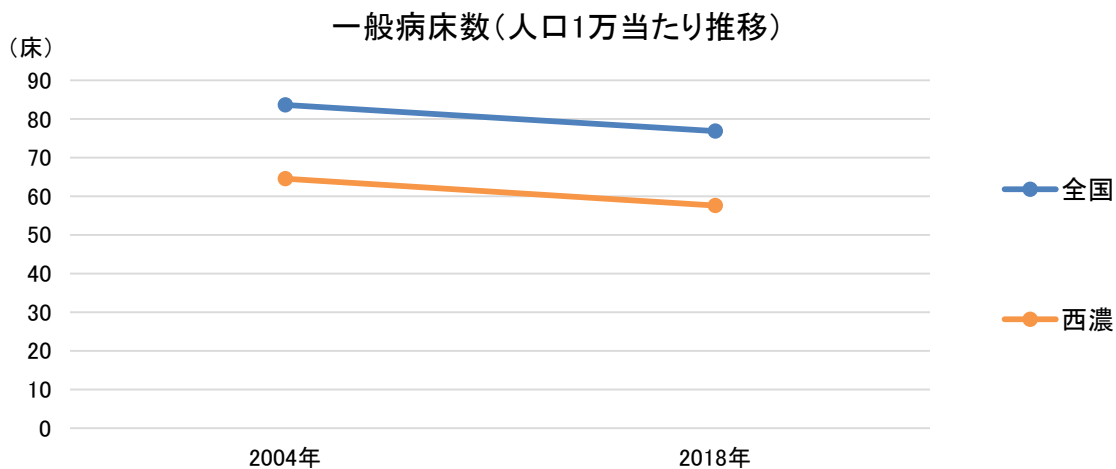
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が569人(人口10万人当たり145人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2018年に608人(人口10万人当たり163人(全国平均245人)偏差値41)と、39人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



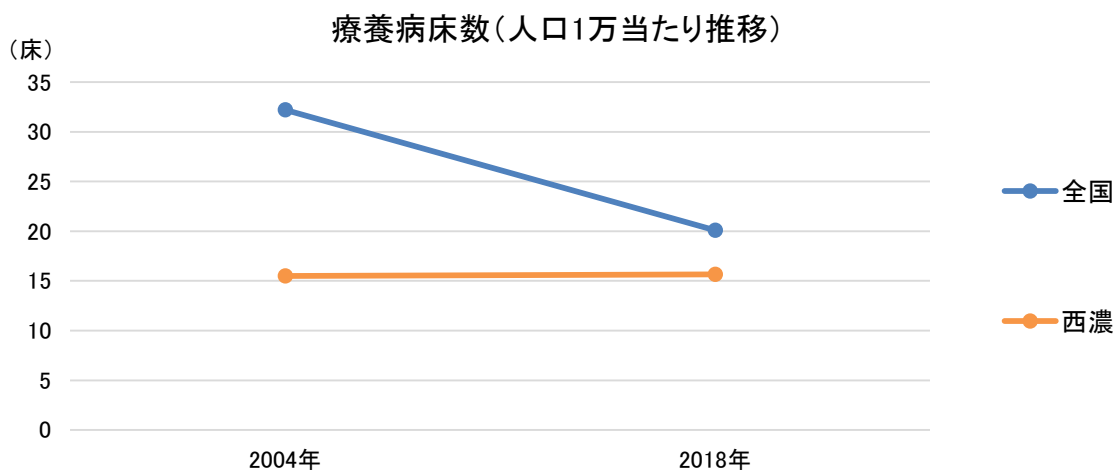
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,529床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2018年に2,146床(人口1万人当たり58(全国平均77)偏差値43)と、383床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



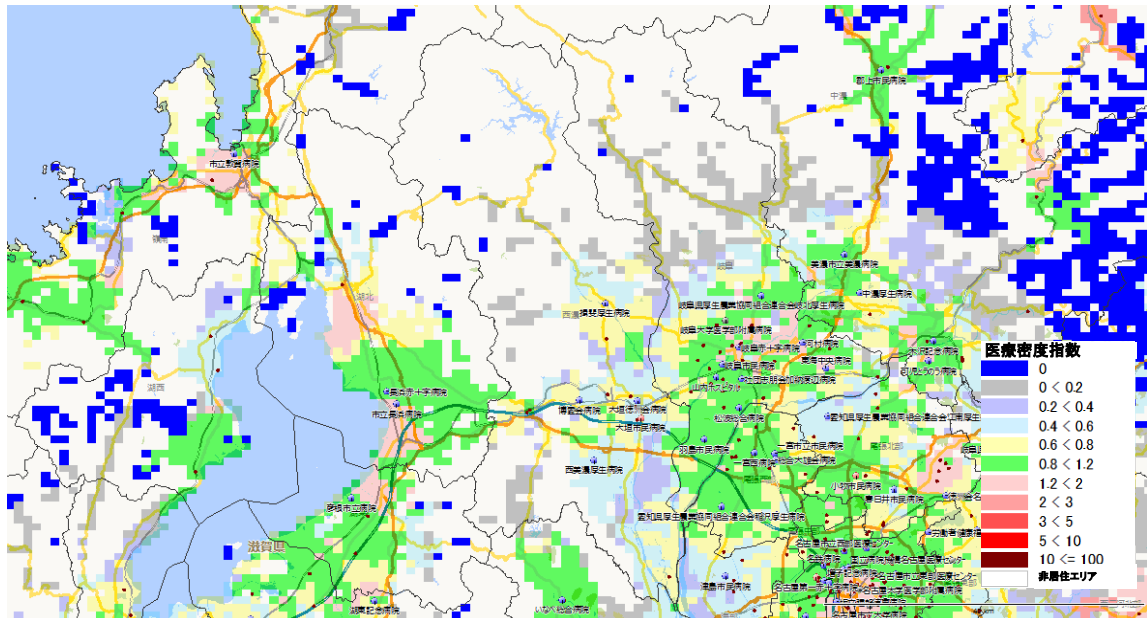
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が570床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均32)偏差値41)であったが、2018年に763床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、193床の増加、率にして34%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



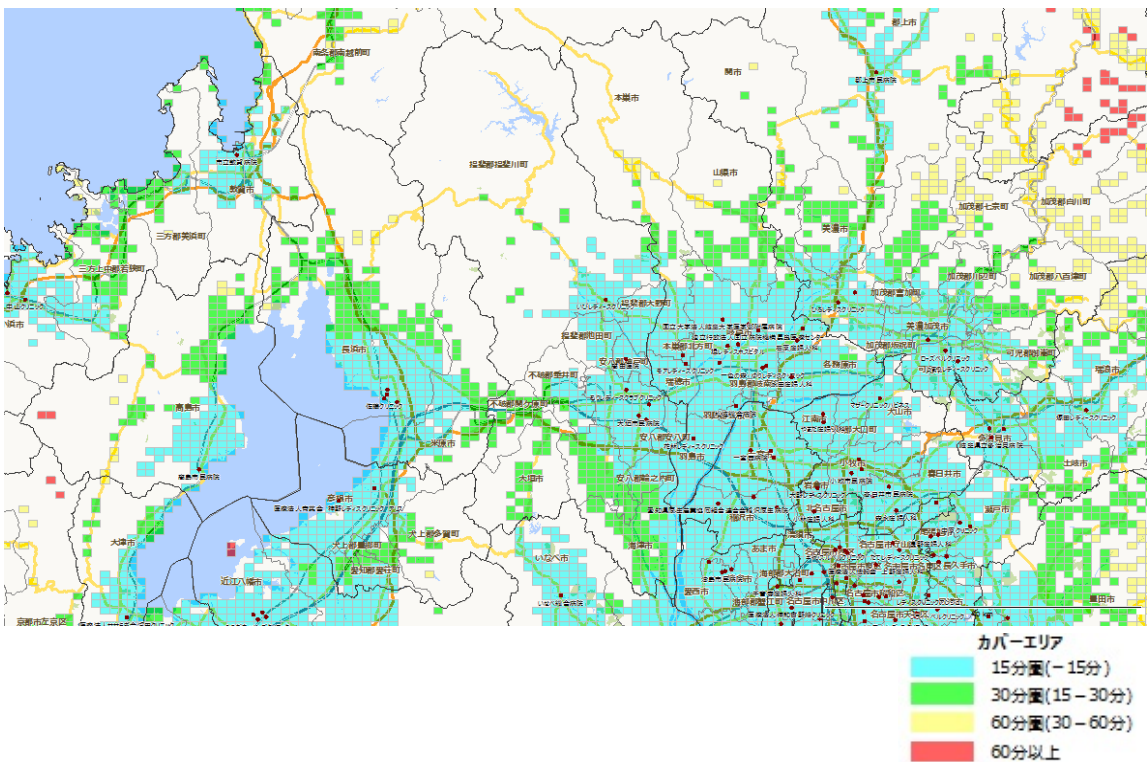
## (西濃医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表21-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

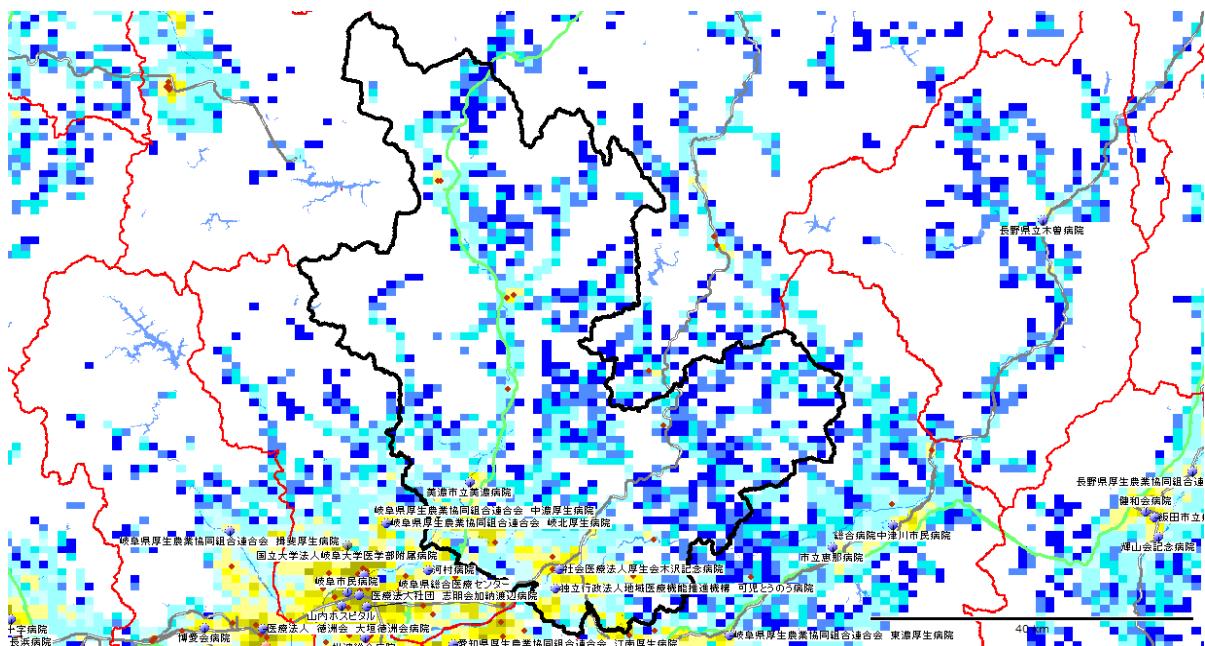


# 21-3. ちゅうのう 中濃医療圏

構成市区町村 [関市](#) [美濃市](#) [美濃加茂市](#) [可児市](#)  
[郡上市](#) [坂祝町](#) [富加町](#) [川辺町](#)  
[七宗町](#) [八百津町](#) [白川町](#) [東白川村](#)  
[御嵩町](#)

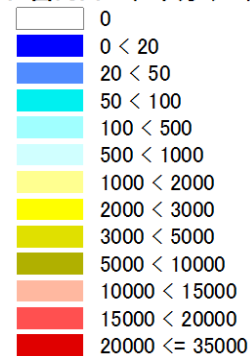
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (中濃医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 中濃(関市)は、総人口約374千人(2015年)、面積2,454km<sup>2</sup>、人口密度は152人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 中濃の総人口は2025年に352千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に308千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の52千人が、2025年にかけて68千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には71千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 中濃の一人当たり医療費(国保)は359千円(偏差値51)、介護給付費は231千円(偏差値43)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 中濃の一人当たり急性期医療密度指数は0.6、一人当たり慢性期医療密度指数は0.55で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数41、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。中濃には、年間全身麻酔件数が1000例以上の木沢記念病院(Ⅲ群)、中濃厚生病院(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 中濃の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,785人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,454床(偏差値54)、高齢者住宅等が1,331床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,806人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム42、軽費ホーム46、グループホーム52、サ高住37である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、377人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (中濃医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

中濃医療圏の総人口は、2005年388,877人が、2015年に373,712人と4%減少し、2025年の人口が352,475人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

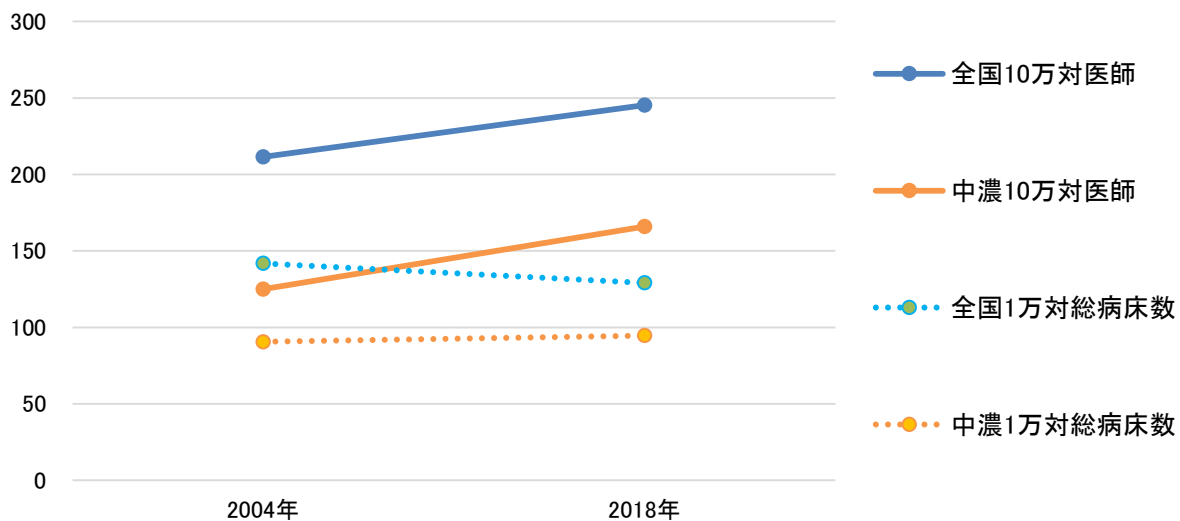
2004年の病院数が22(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2018年に18(人口10万人当たり4.8病院(全国平均6.6)偏差値46)となり、14年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が217(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2018年に266(人口10万人当たり71診療所(全国平均80)偏差値45)と、49診療所が増加した。

2004年の総病床数が3,522床(人口1万人当たり91(全国平均142)偏差値41)であったが、2018年に3,538床(人口1万人当たり95(全国平均129)偏差値43)と、16床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が486人(人口10万人当たり125人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2018年に620人(人口10万人当たり166人(全国平均245人)偏差値41)と、134人の増加、率にして28%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

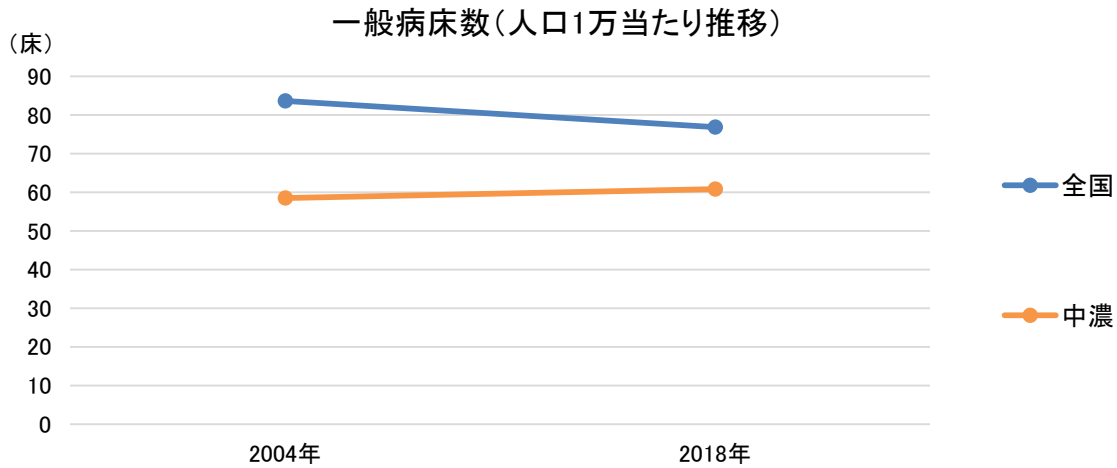
人口当たり医師数・総病床数の推移





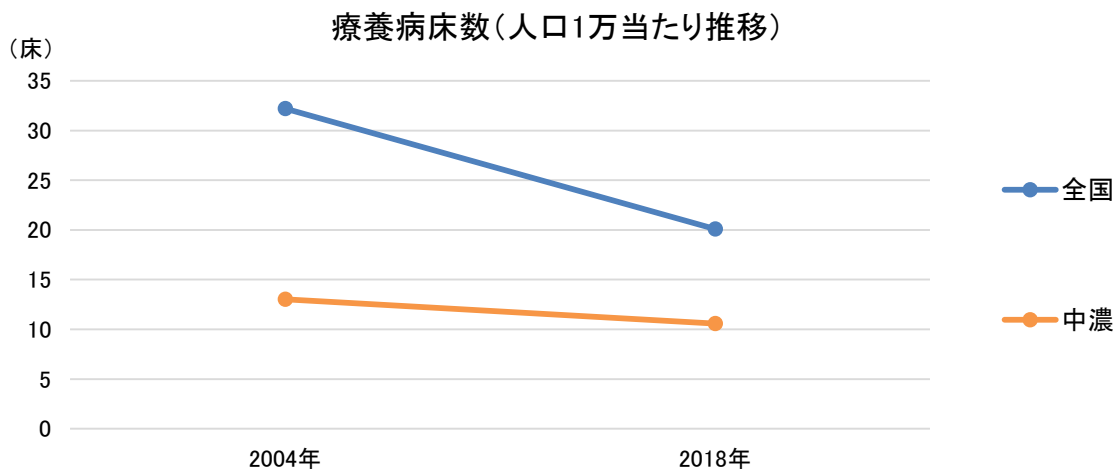
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,277床(人口1万人当たり59(全国平均84)偏差値41)であったが、2018年に2,273床(人口1万人当たり61(全国平均77)偏差値44)と、4床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



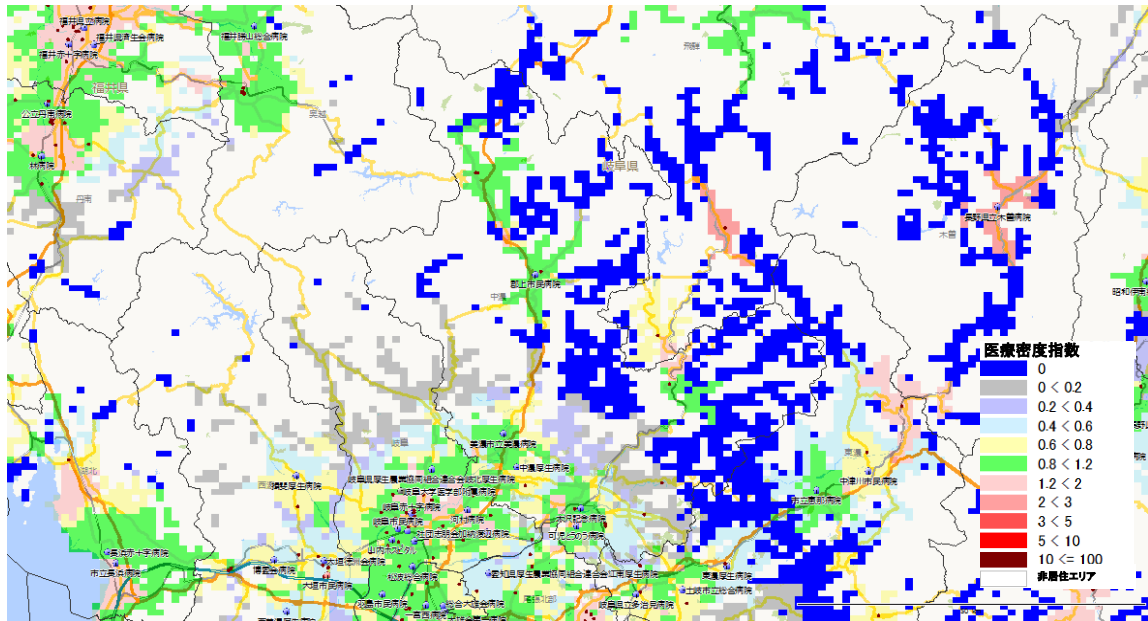
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が530床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2018年に550床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均20)偏差値41)と、20床の増加、率にして4%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



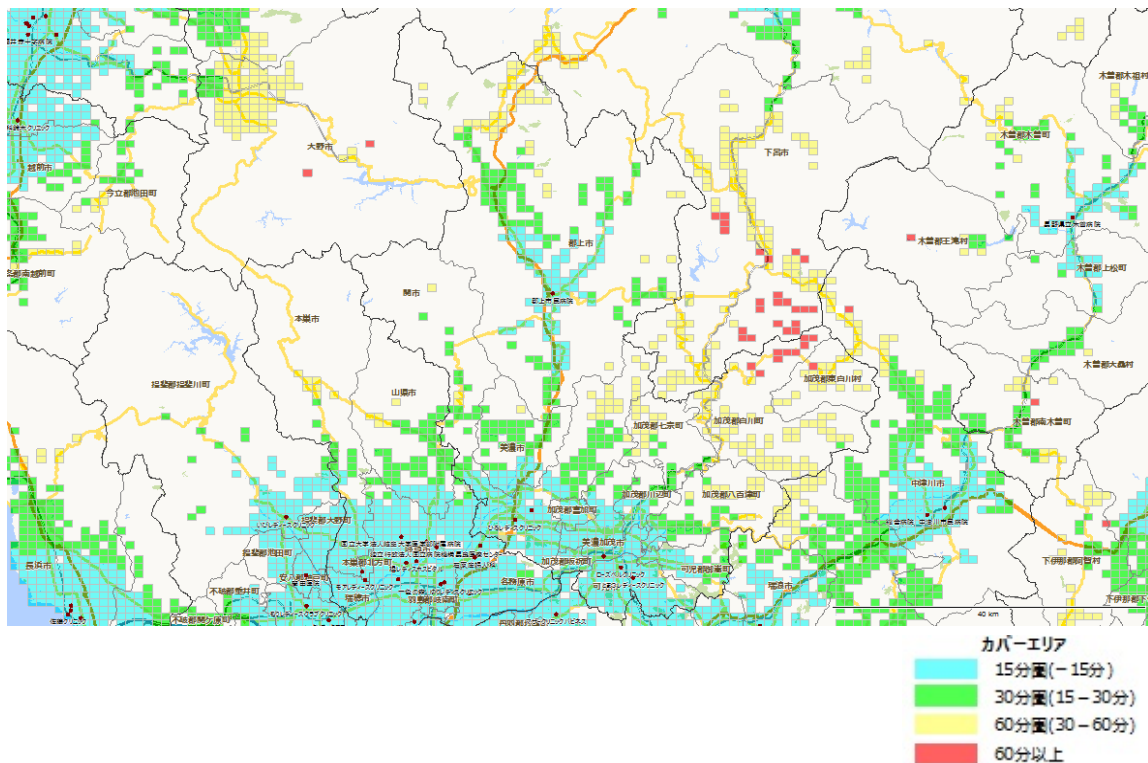
(中濃医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表21-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

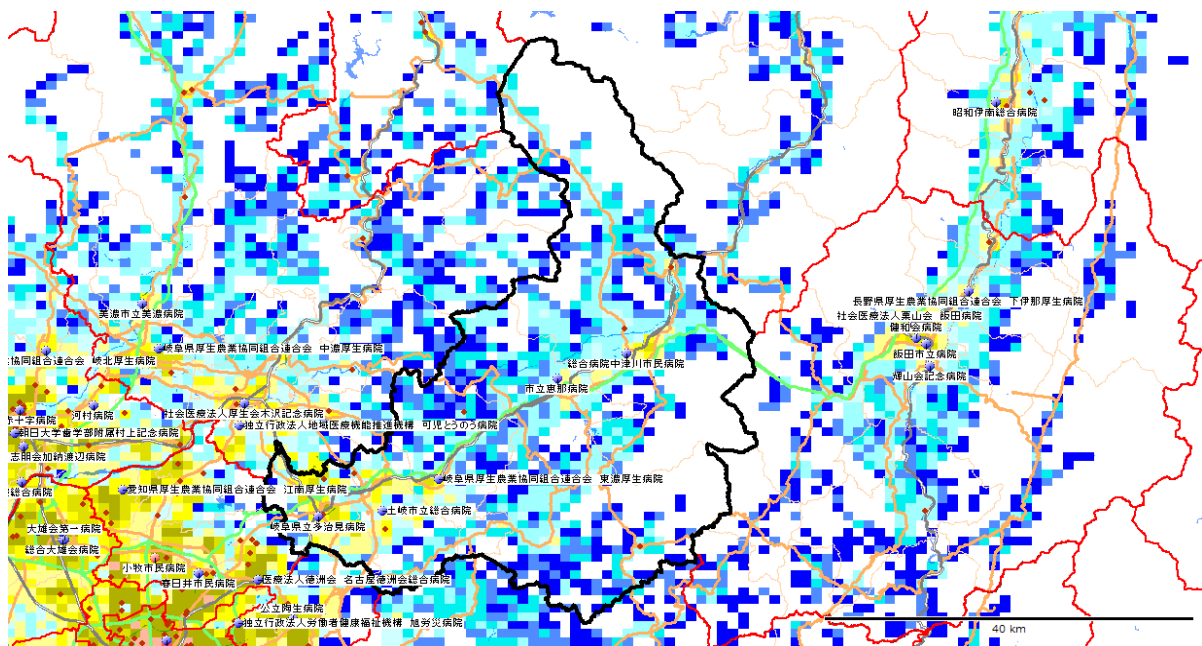


# 21-4. とうのう 東濃医療圏

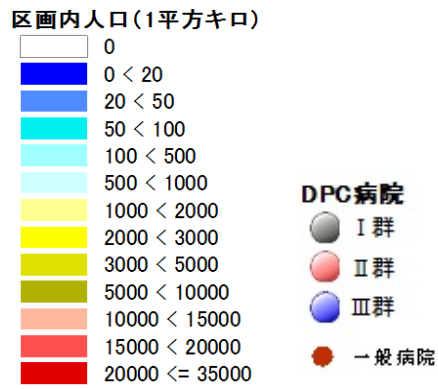
構成市区町村 [多治見市](#) [土岐市](#) [中津川市](#) [瑞浪市](#) [恵那市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



## (東濃医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 東濃(多治見市)は、総人口約337千人(2015年)、面積1,563km<sup>2</sup>、人口密度は216人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東濃の総人口は2025年に310千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に262千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の51千人が、2025年にかけて64千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には64千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東濃の一人当たり医療費(国保)は365千円(偏差値52)、介護給付費は252千円(偏差値49)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 東濃の一人当たり急性期医療密度指数は0.52、一人当たり慢性期医療密度指数は0.66で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数42、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。東濃には、年間全身麻酔件数が1000例以上の岐阜県立多治見病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の中津川市民病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 東濃の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,557人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,815床(偏差値45)、高齢者住宅等が1,742床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,743人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム43、軽費ホーム58、グループホーム53、サ高住43である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、470人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-27%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (東濃医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

東濃医療圏の総人口は、2005年358,884人が、2015年に336,954人と6%減少し、2025年の人口が309,971人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

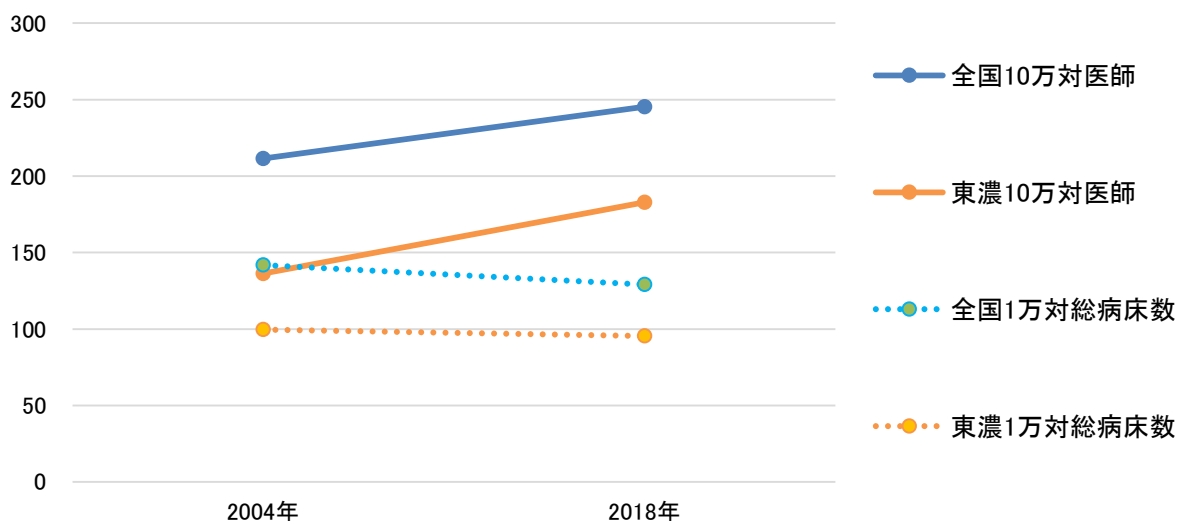
2004年の病院数が15(人口10万人当たり4.2病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2018年に15(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.6)偏差値45)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が227(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2018年に243(人口10万人当たり72診療所(全国平均80)偏差値46)と、16診療所が増加した。

2004年の総病床数が3,577床(人口1万人当たり100(全国平均142)偏差値42)であったが、2018年に3,219床(人口1万人当たり96(全国平均129)偏差値44)と、358床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

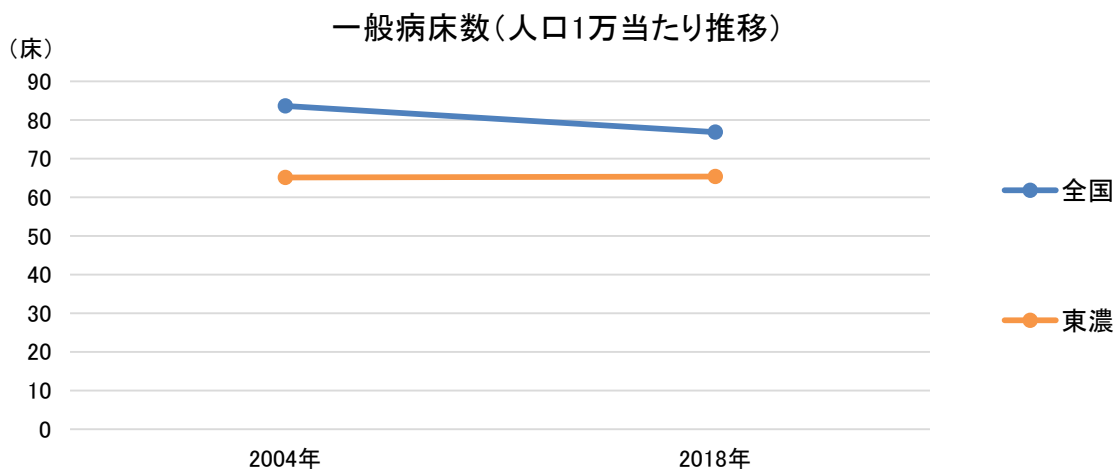
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が489人(人口10万人当たり136人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2018年に616人(人口10万人当たり183人(全国平均245人)偏差値43)と、127人の増加、率にして26%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



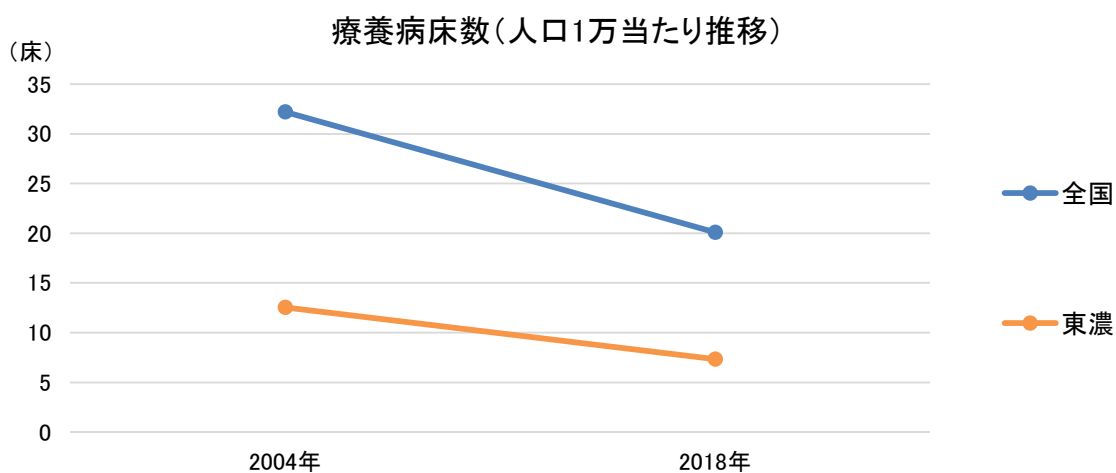
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,337床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2018年に2,203床(人口1万人当たり65(全国平均77)偏差値46)と、134床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



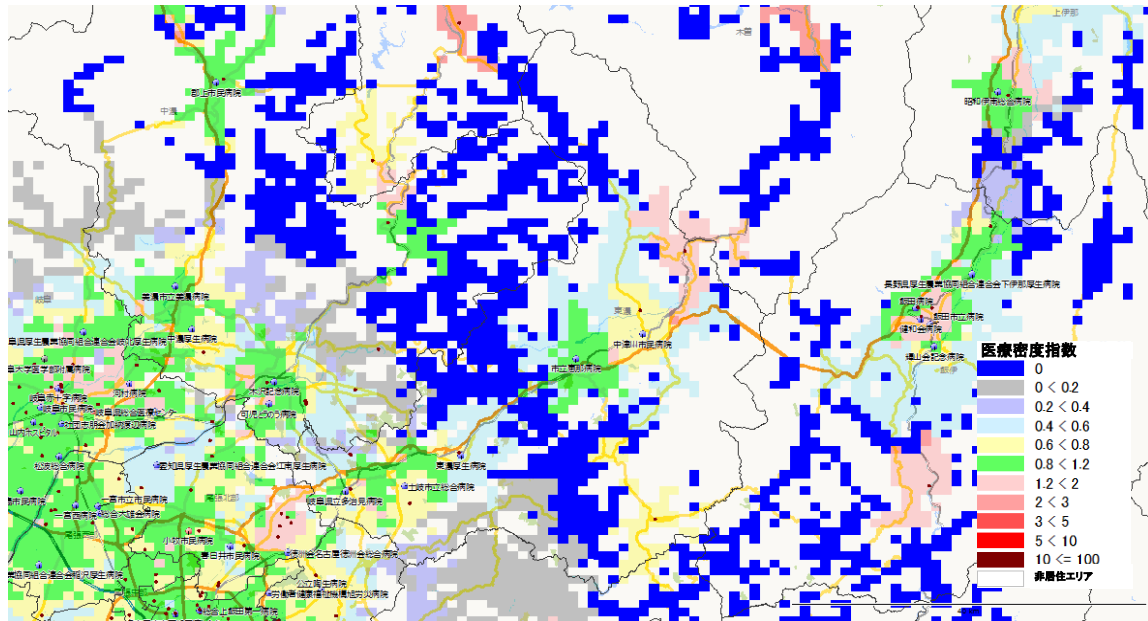
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が482床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2018年に373床(75歳以上1,000人当たり7(全国平均20)偏差値38)と、109床の減少、率にして23%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



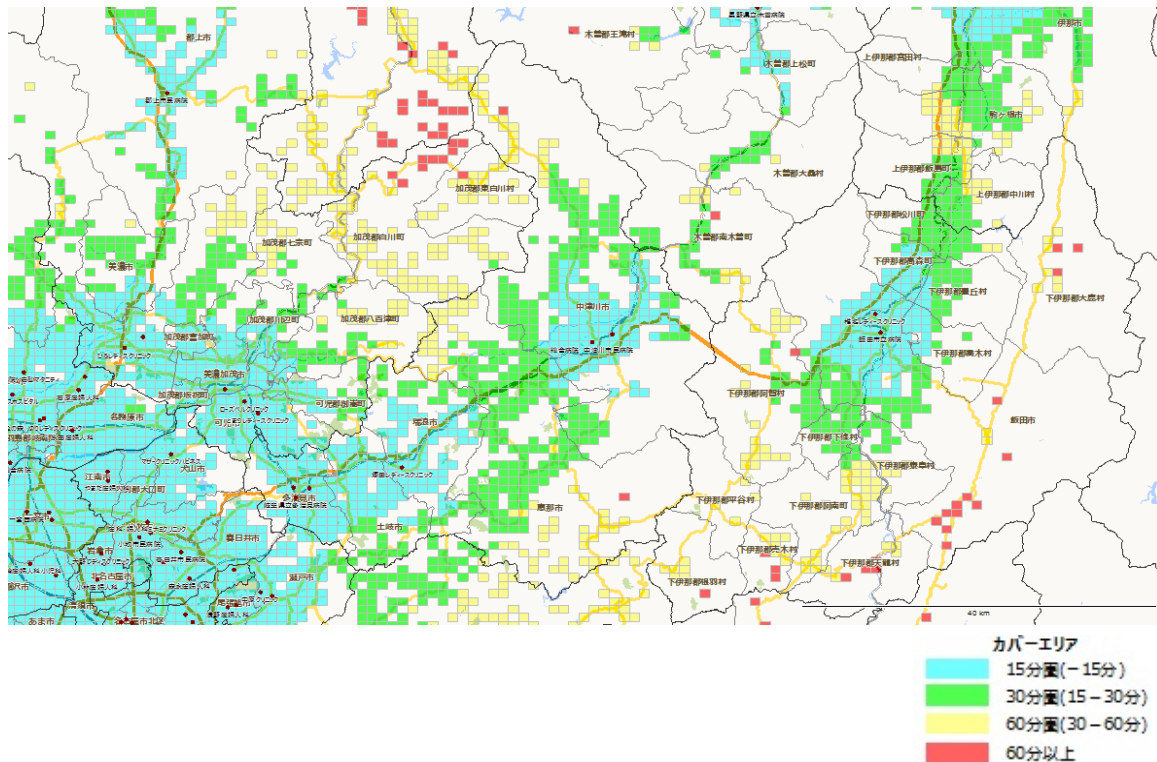
## (東濃医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表21-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

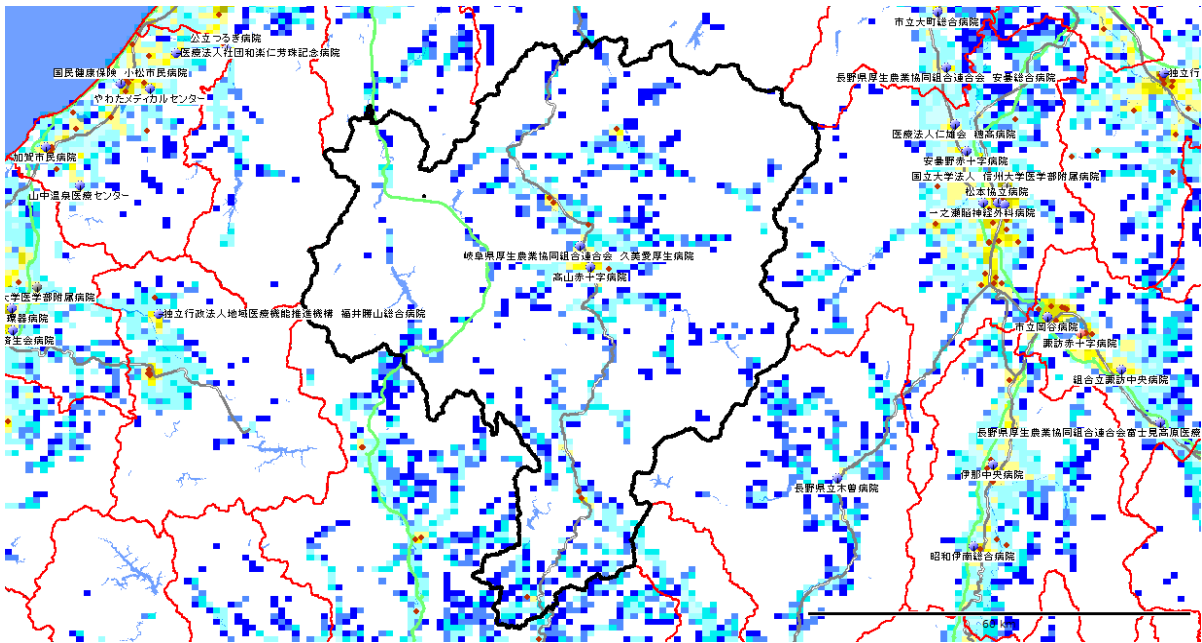


# 21-5. <sup>ひだ</sup>飛騨医療圏

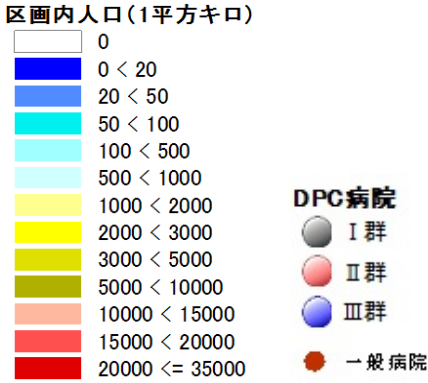
構成市区町村 [高山市](#) [飛騨市](#) [下呂市](#) [白川村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ





## (飛騨医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 飛騨(高山市)は、総人口約149千人(2015年)、面積4,178km<sup>2</sup>、人口密度は36人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 飛騨の総人口は2025年に132千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に105千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて31千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 飛騨の一人当たり医療費(国保)は354千円(偏差値50)、介護給付費は270千円(偏差値54)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 飛騨の一人当たり急性期医療密度指数は1、一人当たり慢性期医療密度指数は3.49で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数42、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。飛騨には、年間全身麻酔件数が500例以上の高山赤十字病院(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 飛騨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,463人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,778床(偏差値54)、高齢者住宅等が685床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,098人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム38、軽費ホーム52、グループホーム42、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、225人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (飛騨医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

飛騨医療圏の総人口は、2005年165,610人が、2015年に149,072人と10%減少し、2025年の人口が131,739人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

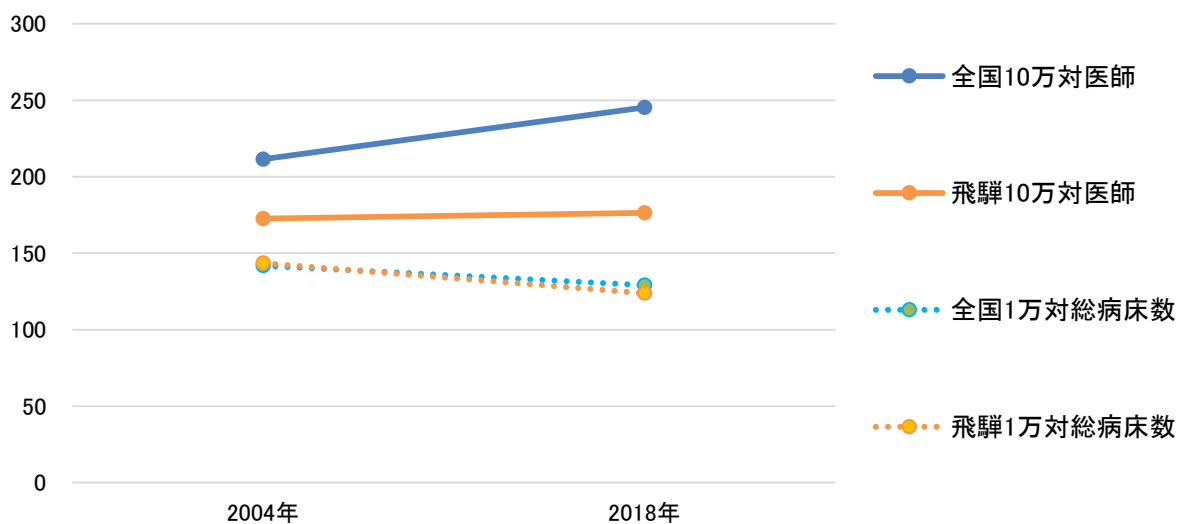
2004年の病院数が12(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2018年に10(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が136(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2018年に131(人口10万人当たり88診療所(全国平均80)偏差値54)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,378床(人口1万人当たり144(全国平均142)偏差値50)であったが、2018年に1,847床(人口1万人当たり124(全国平均129)偏差値49)と、531床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

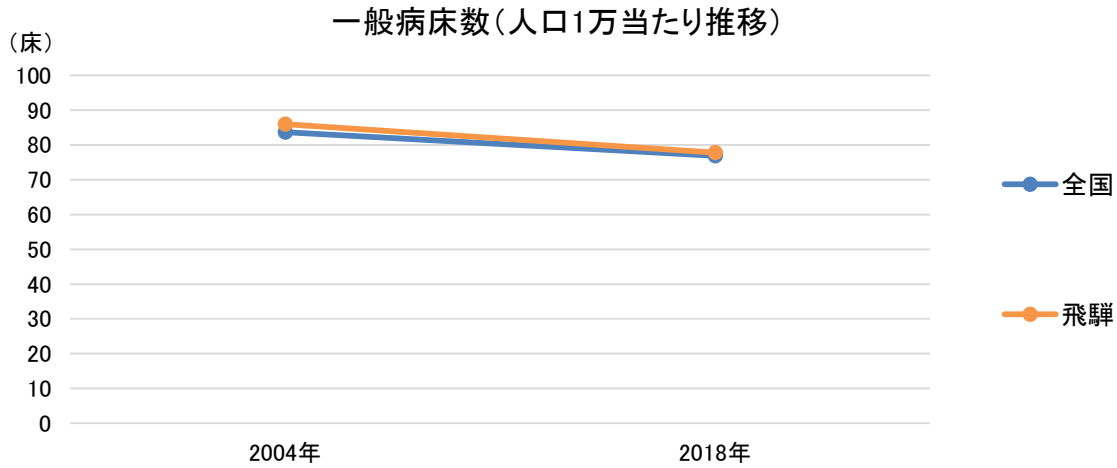
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が286人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2018年に263人(人口10万人当たり176人(全国平均245人)偏差値42)と、23人の減少、率にして8%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



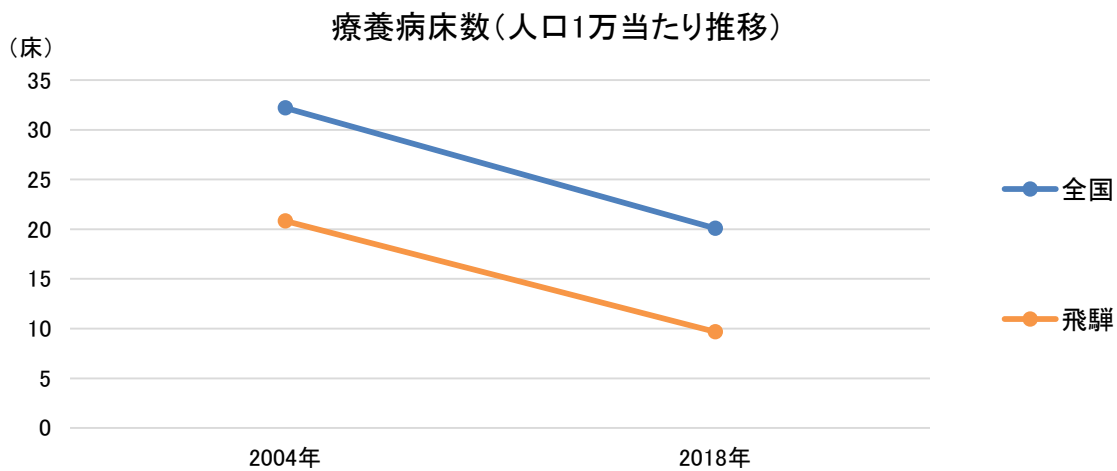
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,424床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2018年に1,159床(人口1万人当たり78(全国平均77)偏差値50)と、265床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



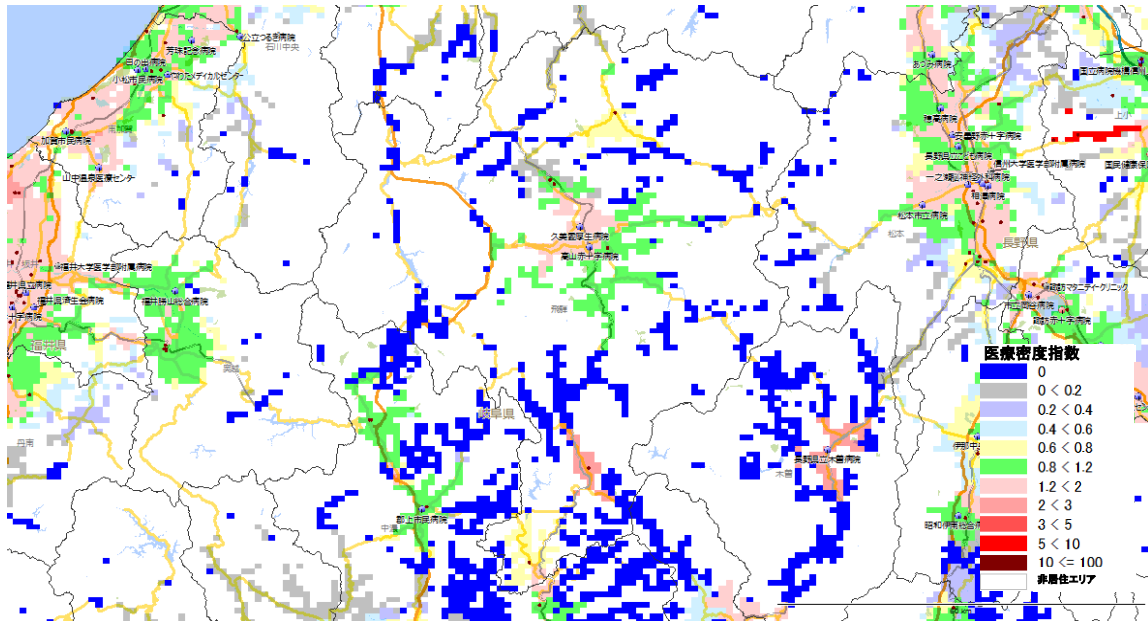
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が442床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2018年に259床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、183床の減少、率にして41%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



(飛騨医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表21-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

